



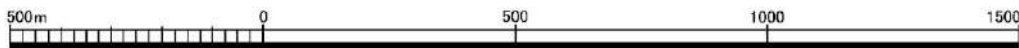
# ええとこぎょうさん！大阪□ゲ

【3時間クラス】

2026年9月22日(祝) 主催 おせんペロゲイニング (※一般社団法人日本フォロゲイニング協会とは関係ありません) ○→チェック・ポイント 00→得点 △→スタート ◎→フィニッシュ

※ウォーク&ライド参加者のみ電車・バスの乗車可

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m この地図は国土地理院発行の電子地形図25000を複製





**例** チェックポイント名  
この一覧の写真を写真とほぼ同じ構図の写真を撮影してください。チームの場合、撮影者以外の全チームメンバーの顔を必ずフレームインさせて撮影してください。



**23 大阪産業創造館**  
東横堀川から淀川を経て、大阪の企業家が七つの海へ進出してほしいとの願いを表した作品です。七人の起業家を七福神になぞらえ、小舟で航海へ出る姿を壁面に配し、大阪産業創造館の挑戦を象徴しています。



**37 豊臣秀頼公像**  
豊臣秀吉の子・秀頼の像です。玉造稲荷神社は豊臣時代に大坂城の守護神とされ、秀頼が奉納した石鳥居も現存。豊臣家との深い結びつきを今に伝える境内で、若き大坂城主の姿と豊臣家の栄華を今偲べます。



**51 旧大阪プール碑**  
扇町公園にあった大阪プールを記念するモニュメントです。1950年開場で、国際大会が開催されました。残る1〜9番のスタート台は、実際に競泳で使われたもので、戦後大阪の水泳文化史を伝えています。



**9 金龍ラーメン道頓堀店**  
道頓堀名物の巨大な龍。しっぽとひしきが隣接地にはみ出ていることで裁判となり、大阪高裁も撤去を命じました。2024年8月、制作者自らがしっぽを切断。残された龍の目には「涙」が付けられました。



**24 難波八阪獅子殿**  
高さ約12メートルの獅子頭をかたどった舞台で、1974年完成。大きく開いた口で邪気を飲み込み、勝運を招くとされます。目はライト、鼻はスピーカーになっており、神楽などの奉納の舞台に役れます。



**38 大阪城天守閣正面**  
現在の天守閣は1931年、市民の寄付で復興された3代目。豊臣期をイメージした復興天守です。豊臣期の初代天守の高さは今より16m低い一方、黒漆塗りの外壁に金箔瓦や装飾のある豪華絢爛な姿でした。



**52 マウンテンバイク象さん**  
白い巨大な象が、黄色いタイヤのマウンテンバイクにまたがった黄色の立体オブジェです。長い鼻を高く上げて自転車を乗りこなす姿はインパクト抜群。街角に突然現れる、思わず二度見する大阪らしい珍景です。



**10 心斎橋大丸の孔雀**  
心斎橋筋側入口を見上げると、華麗な孔雀の装飾が迎えます。ヴォーリス設計の旧館意匠を受け継ぐ見どころで、かつて主催者の亡き父が勤めていた思い出の場所でもあり、百貨店建築の歴史を今に伝えます。



**25 生駒ビルディング時計塔**  
昭和初期、生駒時計店の本店として建てられた近代建築です。屋上の時計塔や時計を思わせる外壁装飾に、時計店らしい個性が光ります。堺筋の街並みに今も残る独特の表情を添える、国の登録有形文化財です。



**39 国立国際美術館**  
地上に見る鉄骨造形は竹の生命力を表し、展示室の大部分は地下に広がります。館内には全長約12メートル、スペインの画家ミロによる色鮮やかな陶板壁画の代表作「無垢の笑い」が恒久展示されています。



**53 阪神高速貫通ビル**  
土地所有者はビルを建てたい、阪神高速は同じ場所に道路を通したい。約55年の交渉の結果、「ならば両方造ろう」と誕生した世界初の高速道路貫通ビル。5〜7階を道路が通りますが、建物には接触しません。



**11 道頓堀グリコ**  
1935年、道頓堀に初代が登場した江崎グリコの巨大看板です。現在は2014年完成の6代目で、ゴールするランナーの姿は企業のシンボル。戎橋から見る景色は、大阪を代表する記念撮影のスポットです。



**26 おおきにBIGLOVEビル**  
壁一面に巨大な「BIG LOVE」の文字を描いた大阪らしいビルです。「おおきに」は関西で感謝を表す言葉。建物そのものをメッセージに変える大胆な発想に、大阪らしい遊び心が鮮やかに表れています。



**40 十魚架**  
魚が十字形に組み合わされた不思議な彫刻で、題名は「十魚架」。細長い魚たちが空へ伸びるような造形が特徴です。水都大阪らしく川や水辺を連想させ、中之島の街角にユニークな景観を生み出しています。



**54 東天満公園の木星**  
東天満公園にある巨大な球体オブジェは、木星を思わせる縞模様が特徴的です。設置理由や作品名は公表資料では判然としません。背後には流線型のコンクリート製すべり台もあり、不思議な景観をつくります。



**12 道頓堀ホテル**  
道頓堀川近くに立つホテルで、入口の前の巨大な4体の顔柱が名物です。日本人・西洋人・アフリカ人・アジア人を表し、「世界中の人々に大阪を楽しんでもらいたい」という思いを込めて設置されたものです。



**27 大阪瓦斯ビルのガス灯**  
御堂筋沿いの大阪瓦斯ビルディング前に立つ、レトロなガス灯です。1933年完成の建物とともに、大阪ガスの歴史を今に伝える存在。都市ガスの本社前で今も街角を照らす、味わい深い街のシンボルです。



**41 天満天神繁昌亭**  
2003年、上方落語協会会長に就任した桂三枝（現・六代桂文枝）が発起人となり、戦後60年以上途絶えていた大阪の落語定席を復活。大阪天満宮の用地提供や募金を経て、2006年9月に開場しました。



**55 HEP FIVE観覧車**  
梅田の商業ビル屋上を回る赤い観覧車で、最高地点は地上約106メートル。阪急サン広場から見える観覧車風景は、大阪キタらしい定番の景観として親しまれ、街のシンボルになっています。梅田の象徴です。



**13 アメリカ村人型街路灯**  
2000年、「人が人を守る」を掲げ人型街路灯50基を設置。汎用人型決戦兵器ならぬ「街を守る人型街灯」です。2012年からアート化も開始。撮影対象は三角公園の長辺側にある緑色の一基の街灯です。



**28 法円坂遺跡**  
飛鳥時代の倉庫群跡が見つかった場所で、難波宮に関連する施設と考えられています。復元された高床倉庫が古代大阪の姿を伝え、現在の都心が古くから政治の中心だったことを実感できる貴重な歴史遺跡です。



**42 難波神社境内のピザ窯**  
神社の境内に本格的なピザ窯が置かれる珍しい光景です。地域の催しなどで実際に使われ、寺社を身近な交流の場にする役割も担います。鳥居や社殿と石窯が並び意外な景観に、地域とのつながりが表れています。



**56 風光の庭の「阪」**  
「何にみえますか？」梅田スカイビルを北に望むLUCUA 1100・2階西側出口の「風光の庭」に置かれた文字オブジェ。「阪」の文字を白体化した作品で、緑と白の大胆な造形が強い存在感を放ちます。



**14 道具屋筋・花月堂**  
1946年創業、のれん・提灯・看板などを扱う老舗です。店頭の巨大な招き猫が目印で、道具屋筋アーケードの「道」の字は創業者・湯川徳太郎が書いたもの。商店街の顔としても深く関わっている一軒です。



**29 緒方洪庵像**  
江戸時代の医師・蘭学者、緒方洪庵の像です。大阪に開いた通塾から福沢諭吉、大村益次郎、橋本左内ら多くの人材が育ちました。天然痘予防にも尽力し、日本の近代医学と人材育成の礎を築いた重要人物です。



**43 USJ大阪城マンホール**  
大阪城を背景に、USJの地球儀や恐竜などを描いたカラフルなマンホールです。開業25周年を記念して大阪市内に設置された特別デザインで、歴史ある大阪城とテーマパークの世界が足元で共演しています。



**57 巨大ハチエモン**  
1995年に誕生した関西テレビのマスコット「ハチエモン」。巨大オブジェは梅田のカンテレビル北正面に置かれ、大きな口とユニークな表情で来訪者を迎えます。本社は1997年に現在地へ移転しています。



**15 まっちゃまち筋商店街**  
人形や玩具、駄菓子などの問屋が集まる「まっちゃまち」。主催者の祖父もおもちゃ屋を営み、幼い主催者は仕入れに付き添ってたびたび訪れました。大阪の問屋街文化と主催者の思い出が重なる大切な町です。



**30 鞆公園 FIRST RIDE**  
鞆公園の「うつぽ」は魚のウツボではなく、矢を入れる道具「鞆」に由来します。園内の彫刻「FIRST RIDE」は、自転車に乗り始める瞬間の躍動感を表した作品で、公園の緑の中に軽やかに歩みます。



**44 鶴橋ボン酢自販機**  
日本初をうたうボン酢の自動販売機です。「アカンかったら金返す！」という大阪らしい強烈なコピーが目立ちます。焼肉店や韓国食材店が集まる街の鶴橋で、ボン酢も自販機で売られる珍スポットなのです。



**58 大びちゃんくん**  
梅田のビル屋上に設置された、ダイキン工業の巨大名物看板です。気温や湿度に応じて表情や色が変化し、暑さや快適度を街の人に知らせます。撮影は御神社の前から、大びちゃんくんを正面に収めてください。



**17 特急ラビット像**  
南海なんば駅に直結するなんばパークスに置かれた、南海を代表する空港特急ラビットの模型です。「ラビット」はドイツ語で「速い」の意味。一般公募約3万2千通から選ばれ、なんばと関西空港を結びます。



**31 大証前の五代友厚像**  
薩摩藩出身の五代友厚は、明治初期に大阪経済の再建に尽力し、大阪商工会議所の設立に関与しました。「東の渋沢、西の五代」と並び称される実業家で、功績をたたえる銅像が大阪取引所に立っています。



**45 天三・南端の真朱鳥居**  
天神橋三丁目商店街の頭上には、真朱・桧木・浅葱・明黄の日本の伝統色で彩られた16基の鳥居が並びます。4フロアごとに色が変わり、大阪天満宮に近い南側は真朱。撮影対象は南端にある赤い鳥居です。



**59 ウォーズマンホール**  
漫画「キン肉マン」の超人ウォーズマンを描いたマンホールです。大阪市出身の漫画家ユニット「ゆでたまご」と大阪市の連携企画で、2021年に市内5か所へ超人たちの特別なマンホールが設置されました。



**18 源聖寺坂**  
天王寺七坂の一つに数えられる歴史ある坂道です。寺町に石段と坂が続き、大阪市街が平坦一辺倒ではなく上町台地の起伏状に発展したことを実感できます。周辺には寺院も多く残ります。上町台地の地形起伏。



**32 豊國神社・豊臣秀吉像**  
境内前に立つ、戦国武将・豊臣秀吉の銅像です。農民から天下人まで上り詰め、大阪城を築いた人物として知られます。背後の大阪城とともに、豊臣ゆかりの歴史を身近に感じられる、とても印象的な場所です。



**46 キタノザウルス**  
JR北新地駅の改札外に置かれた、恐竜を思わせる独特なオブジェです。東西の改札の間にひっそり立ち、駅を利用する人の待ち合わせ場所にも。繁華街の地下に突然現れる姿が不思議な存在感を放っています。



**60 中崎町路地の壁画**  
古い長屋が残る中崎町の細い路地に、カラフルな壁画が続きます。その先には昭和レトロの古着や雑貨を扱う「green pepe」があり、昔ながらの町並みと個性的な店が溶け合う中崎町らしい一角です。



**19 巨大蜂オブジェ**  
1992年頃、蜂をテーマにしたゲームセンター&カラオケ「AlphaBeam」のシンボルとして誕生。店内も蜂の巣や蜂人間だらけ。店は25年前に姿を消しましたが、巨大蜂だけが屋上に残っています。



**33 三光神社・真田幸村の像**  
三光神社境内に立つ、甲冑姿の真田幸村公の像です。大阪冬の陣で出陣「真田丸」を築き徳川軍を苦しい武將として知られます。境内には「真田の抜け穴」と伝わる史跡もあり、幸村ゆかりの地を今伝えます。



**47 露天神社（お初天神）**  
近松門左衛門の浄瑠璃「曾根崎心中」ゆかりの神社で、通称「お初天神」。1703年、遊女お初と徳兵衛が境内で心中し、事件が作品化されヒット。お初の名から親しまれ、今も縁結びの神社として人気です。



**61 梅田スカイビル**  
1993年完成。2棟の超高層ビルを空中庭園展望台でつなぐ独特の姿が特徴です。地上には黄と青の鳥の形状オブジェ「おでん」があり、少し離れた所には赤い「おでん」も。人を広場へ引きつける空間演出です。



**20 オーガニックビル**  
1993年竣工。当時まだ珍しかった壁面緑化を大胆に取り入れ、外壁に132個の植木鉢を配置した先駆的な建築です。イタリアの建築家ガエタノ・ペッシェが設計し、鉢には実際の植物が植えられています。



**34 日本基督教団大阪教会**  
大坂開港後、外国人居留地となった川口地区で1874年に「梅本町公会」として誕生した、日本最古級のプロテスタント教会です。信徒増加で移転を重ね、1922年に現在地へ赤煉瓦の会堂が完成しました。



**48 JO-TERRACE フォマ'ヅ**  
2017年開業。「緑の中の城下町」がコンセプトのJO-TERRACE OSAKA。10mのフォトベンチには殿様や姫様が並び、野点会の下で揺れます。野点は豊臣秀吉と千利休が始めたと伝わります。



**62 真実の口**  
新京橋商店街のアーケード改築時、「商売には真実がないといけない」との思いから、商店街のシンボルとして設置。本家ローマの「真実の口」より大きく造られ、今では京橋の街を象徴するランドマークです。



**21 鉄道バー「駅」**  
駅名標や行先板など本物の鉄道用品に囲まれた鉄道バー「駅」。店主は「駅長」、入店は「乗車」と呼ぶ徹底ぶりです。入口からまるで駅そのもの。素面（しらひ）から千鳥足へ向かう、遊び心満載の一軒です。



**35 大阪市中央公会堂**  
1918年完成。北浜の株式仲買人・若本栄之助が、現在の約50億円に相当する私財100万円で大阪市へ寄付して建設。ヘレン・ケラーやガガーリンなども講演し、今も現役で使われる、国の重要文化財です。



**49 藤田邸跡庭園の東屋**  
明治大阪の実業家・藤田傳三郎は藤田財閥を築き、現在のDOWAにつながる藤田網を興しました。ここは「網島御殿」と呼ばれた邸宅跡。近松門左衛門の人形浄瑠璃「心中天網島」ゆかりの場所でもあります。



**100 ♪たこ焼き購入ポイント**  
コンビニ、スーパー以外の地図範囲内の店でたこ焼きを購入（種類・数は自由、但し自費）。店の看板とたこ焼き（チームの場合はメンバーも）を一緒に写真を撮ると一度だけ100点加算されます。



**22 綿糸会館**  
北浜から本町にかけて残る戦前大阪の近代建築を代表する建物です。重厚な外観と細部の凝った意匠が美しく、1931年完成。国の重要文化財として、大阪が経済都市として栄えた時代の華やかさを伝えます。



**36 中之島公園・剣先噴水**  
中之島公園の東端、堂島川と土佐堀川が合流する「剣先」に設けられた噴水です。川へ向かって勢よく水を噴き上げて勢よく水辺へ、水都大阪を象徴する景観をつくっています。



**50 ぼすくま・ぼすくま**  
日本郵便の「ぼすくま」は、2012年発行の「秋のグリーティング切手」で誕生。ぼすくまは、ポストに手が届かずに困っていたところをぼすくまに抱き上げてもらい、以来ずっと慕っている大切な仲間です。

**【3時間クラス】**  
●10:30スタート ●13:30フィニッシュ  
●合計2,000点 ●遅刻減点 -1点/秒 ●14:00までに成績表提出と写真チェックを終えなければ失格  
●緊急連絡先 090-XXXX-XXXX  
【おせんべろゲイニング代表 折田】



# ええとこぎょうさん！大阪□ゲ

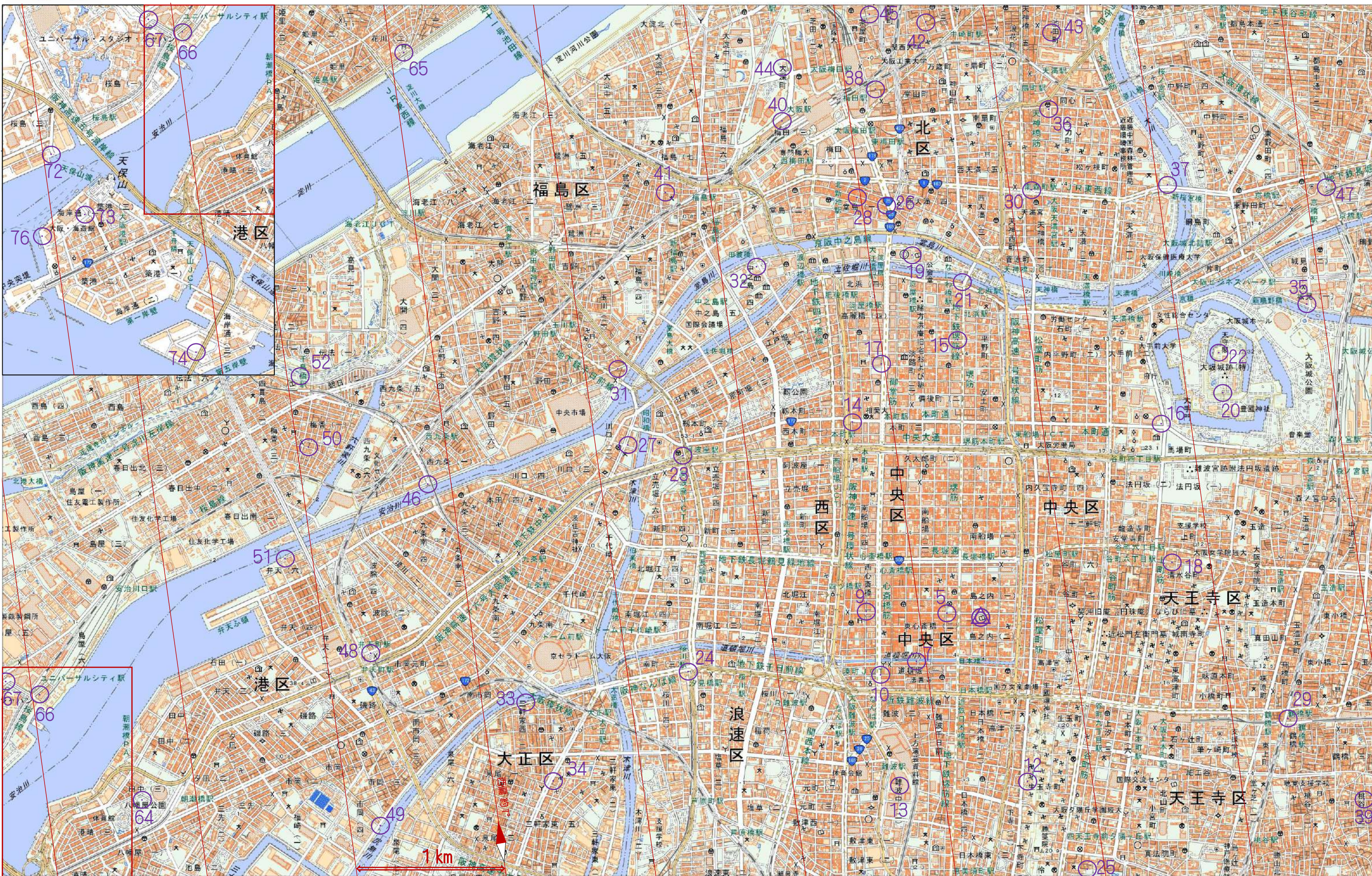
2026年9月22日(祝) 主催 おせんペロゲイニング(※一般社団法人日本フォロゲイニング協会とは関係ありません)

ウォーク&ライド参加者のみ電車・バスの乗車可

【5時間クラス】

○→チェックポイント 00→得点 △→スタート ◎→フィニッシュ

縮尺 1:23,000 等高線間隔 10m この地図は国土地理院発行の電子地形図25000を複製。



# ええとこぎょうさん！大阪ロゲ チェックポイント一覧 (2026/9/22開催・大阪市立中央会館スタート&フィニッシュ)



**例** チェックポイント名  
この一覧の見本写真とほぼ同じ構図の写真を撮影してください。  
チームの場合、撮影者以外の全チーム・メンバーの顔などをフレームインさせて撮影してください。



**18 大阪ガス実験集合住宅**  
1993年に完成。大阪ガスが建設した実験集合住宅で、実際に人が暮らしながら省エネや設備技術を検証します。住まいを実験室にする発想で、環境技術や新しい住宅設備を長期的に試すユニークな建築です。



**29 鶴橋商店街**  
JR鶴橋駅中央出口を出てすぐ。焼肉店や韓国食材店が密集し、チマチョゴリを扱う店も並びます。細い路地にハングル看板が連なり、駅を降りた瞬間から「もう韓国？」と思うほど濃密な街です。異国感満点。



**40 噴水小僧/荒木飛呂彦**  
かつて大阪駅のシンボルだった「噴水小僧」を、『ジョジョの奇妙な冒険』で知られる荒木飛呂彦が現代アートに再構成。水の循環を表す直径約2mのステンドグラスで、荒木氏初のパブリックアート作品です。



**51 安治川水門**  
1970年完成。幅66.7m、高さ11.9mの巨大な扉を回転させ高潮を防ぐ、日本初のアーチ型水門です。尻無川・木津川にも同型があり、3つの巨大水門が大阪の街を高潮から今なお守り続けています。



**5 周防町筋のモナリザ**  
サンガラス姿のモナリザが描かれた周防町筋の壁画です。頭上には「DA VINCI」の文字、周囲にはハートや星など模様が広がります。名画を大胆にアレンジした、ミナミらしい遊び心あふれる作品です。



**19 大阪府立中之島図書館**  
住友財閥の寄付で1904年に開館。蔵書には、770年に作られた世界最古級の印刷物「百万塔陀羅尼」や、井原西鶴の「好色一代男」初版本など、約9,000点もの貴重書が現在も大切に守られています。



**30 天二・御迎人形アーチ**  
船渡御は、大阪天満宮の神様を船に乗せて大川を巡る天神祭の神事です。御迎人形は、その船団を迎える船に飾られた大型人形です。題材は歌舞伎や浄瑠璃の登場人物などで、三国志でおなじみの関羽もいます。



**41 福島聖天通商店街**  
「売れても古い商店街」の愛称で知られ、古い街おこしに活用。商店街名は近くの聖天丁徳院に由来します。比較的長い通りには、泡キョーザの店やホルスタイン型ベンチなど、ユニークなものが点在します。



**52 ミャクミャク像**  
万博開催区・此花の正蓮寺公園に立つミャクミャク像です。背後には、水が悪いものを浄化し良い循環を生み願いを込めた「此花水龍」も。万博とともに生まれた二つのアートが並びとても鮮やかな景観です。



**7 えびすタワー**  
ドン・キホーテ道頓堀店の建物に沿って回る、楕円形の珍しい観覧車です。黄色い円盤の中央にはえびす様の顔が大きく描かれ、普通の円形観覧車とは違う縦長の軌道をゴンドラがゆっくり上下に回っています。



**20 桜門枳形の巨石・蛸石**  
桜門枳形最大の蛸石は表面積約36畳、重さ約108トンともいわれる大阪城屈指の巨石です。表面の赤褐色の模様が蛸の姿に見えることから「蛸石」と呼ばれます。岡山東大島産の花崗岩だともされています。



**31 大阪地卵の10円自販機**  
食品卸で余った飲料を捨てずに売るため始めた、大阪地卵の10円自販機です。20円、30円では売れず、10円にすると大人気。話題を呼び、観光客向けに10円玉の看板までも設置されました。



**42 チェ・ゲバラの壁画**  
キューバ革命家チェ・ゲバラの壁画が残る旧CAFE CALIENTE。キューバ料理店で、「CALIENTE」はスペイン語で「熱い」の意味。店が変わった現在も壁画は残り、中崎町で異彩を放ちます。



**64 八幡屋公園**  
八幡屋公園にある全長25mの巨大遊具。海遊館のジンベエザメをモチーフに、滑り台やクライミング遊具を組み込んだ世界でひとつの造形です。港区らしいスケール感と遊び心が目を引く迫力満点の遊具です。



**9 Peace On Earth**  
アメリカ村のビル壁面いっぱい広がる、黒い鳥を中心とした大壁画です。作者は大阪ゆかりのイラストレーター黒田征太郎。題名「Peace On Earth」に地球の平和への願いが込められています。



**21 難波橋のライオン**  
1915年、中之島の景観を意識して架け替えられた難波橋(なにわばし)。四隅のライオン像は彫刻家・天岡均一の作で、天王寺動物園へ通い実物を観察して制作されました。撮影対象は南西側の雄一頭です。



**32 SHIP'S CAT(船乗り猫)**  
船乗りを守る「船乗り猫」をモチーフに、現代美術家ヤノベケンジが制作した巨大な猫の彫刻です。航海の安全を願う存在として各地に展開され、大阪では水辺の街を見守るような姿で堂々と設置されています。



**43 裏天満ちようちん通り**  
天満市場の北側に広がる飲食街で、頭上を約千個の提灯が埋め尽くす光景が名物です。2016年頃から商店主らが設置を進め、たつた〜と混じる「ハートの提灯」を見つけると良縁に恵まれるともいわれます。



**65 鼻川神社**  
本殿脇の地上に、獅子と鯢(しゃち)をかたどった珍しい鬼瓦が置かれている神社です。陸運の守り神・獅子と海運の守り神・鯢が一つとなっており、境内でも目を引く、鼻川神社のとても個性的な名物です。



**10 金龍ラーメンとくくる**  
金龍ラーメンの巨大な龍と、向かいのたこ家道頓堀くくるの大タコが一枚に収まる場所です。派手な立体看板が通りを挟んで向き合い、龍とタコが競演する、大阪ミナミらしい濃密な景観です。これぞ大阪名物。



**22 大阪城天守閣**  
現在の大阪城天守閣は1931年、市民の寄付で再建されました。内部は歴史博物館で、徳川時代の石垣上に豊臣風の天守が立つという、二つの時代が重なる構成も興味深い点です。大阪城の歴史を伝えます。



**33 京セラドーム大阪**  
銀色の波打つ屋根が宇宙船のように見える大阪の多目的ドームです。プロ野球オリックスの本拠地で、コンサートも多数開催。大阪湾に浮かぶ雲をイメージしたともいわれる屋根が、独特な景観を生み出します。



**44 YUMEMITA!と青りんご**  
ラム・カヅイル作「YUMEMITA!」は、3人が頭を雲に突っ込み、夢でつながる未来を描く。安藤忠雄の「青りんご」は、未熟な実で青春と挑戦の心を表します。この二作品が夢と挑戦を象徴します。



**66 H&Tウィータのミニオン**  
ホテル1階の窓いっぱい、『怪盗ブルー』シリーズのミニオンたちが並びます。黄色い体とゴーグル姿が外からもよく目立ち、テーマパーク周辺のホテルらしい遊び心を、通りを歩きながら気軽に楽しめます。



**12 心光寺**  
古い木造山門をくぐる視線の先に、白壁と緑青色の丸屋根を持つ本堂が現れる心光寺。門柱には「護念山 心光寺」の名も刻まれています。寺の中にも独特な屋根の形が目を引く、今も印象的な古寺なのです。



**23 阿波座ジャンクション**  
大阪港線と神戸線の合流、阿波座出口への車線変更などが短い区間に集中する交通の難所です。限られた都心空間に道路を重ねて整備してきたため、頭上では高架が幾重にも交差する複雑な景観になっています。



**34 泉尾英教塾**  
主催者が大学時代の4年間、講師として国語と社会を教えた高校受験向けの学習塾です。初代塾長夫妻は今も主催者のロケイングに深い関心を寄せています。長年のご縁への恩返しを込めたCP指定です。



**45 まぁらいよんちゃん像**  
MBS毎日放送のPRキャラクター「らいうんちゃん」を、マライオン風に仕立てたユニークな像です。名前の「らいうん」はチャンネル番号4に由来し、水を吐くような姿が茶屋町の街角で今目を引きまします。



**67 USJアーチゲート**  
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ向かう来場者を迎える巨大アーチです。2001年開業のテーマパークの玄関口として、映画の世界へ入っていく高揚感を演出し、現在も多くの来場者を迎え続けています。



**13 大阪球場跡のホームベース**  
大阪球場のホームベース位置に、原寸大のベースが埋め込まれています。1985年、尾崎豊が2万6000人を集めた伝説ライブを開催し、主催者も観客で参加。近くには南海ホークスの記念施設もあります。



**24 南海・汐見橋駅**  
1900年に道頓堀駅として開業。大阪都心を南北に直結する新線「なにわ筋線」の接続ルート候補でしたが、最終的に落選。今は二面編成が走る都会の超ローカル線として、昭和の面影と懐かしさを残しています。



**35 コナンと少年探偵団像**  
読売テレビ本社前に並び、コナン、歩美、光彦、元太、灰原哀の5人の像です。2019年の新社屋開業に合わせて設置され、アニメ放送局ならではのフォトスポットとして現在も多くのファンが訪れています。



**46 安治川トンネル**  
1944年に開通した、川の下を人と自転車が行き交う珍しい河底トンネルです。両岸のエレベーターや階段で地下へ降りて渡り、かつては自動車用道路も存在しました。水都大阪の交通史を伝える土木遺産です。



**72 天保山渡船場(桜島)**  
大阪市が無料で運航する天保山渡船の桜島側乗り場です。安治川を約3分で渡り、対岸の天保山へ結びます。土日祝の11~14時台は30分間隔で毎時2本運航。ロゲの移動手段としても使える大阪名物です。



**14 御堂筋本町おおきにP**  
2020年、本町に誕生した立体駐車場。4面すべてをアーティスト・BOXER JUNTAROが描きました。阪神タイガースやPUMAにも作品を提供する、大阪の人気アーティストによる巨大壁画です。



**25 聖徳太子飛出し注意**  
道路脇から飛び出す子どもではなく、聖徳太子という珍しい交通安全看板です。全国にある「飛び出し坊や」の大阪版ともいえるユーモラスな図柄で、歴史上の偉人が天王寺地区の安全を呼び掛けています。



**36 う〇こに見える遊具**  
堀川児童遊園地には、ウサギ・家・カタツムリをかたどった不思議な遊具が並びます。中でもカタツムリだけが巨大で、その姿はどう見ても「う〇こ」!? 思わず愛称で呼びたくなる、インパクト抜群の遊具です。



**47 京橋グランシャトー**  
京橋駅前立つ老舗リジャールビル。「京橋はええとこだっせ、グランシャトーがおまっせ」のCMソングで関西ではおなじみです。現在も名物のサウナが営業し、昭和から現在まで続く京橋のランドマークです。



**73 天保山観覧車&LEGOキリン**  
1997年開業、高さ112.5mで当時世界最大の天保山大観覧車。現在の世界一はドバイの250m。足元には、チェコで1200時間かけ、33万7500個のLEGOで作られた巨大キリンが立ちます。



**15 神農さんの虎**  
薬のまち道修町で、中国の医薬の祖・神農と日本の医薬神・少彦名命を祀る少彦名神社は「神農さん」と親しまれます。1822年のコレラ流行時に配られた張り子の虎にちなむ虎像が道修町通沿いに立ちます。



**26 北新地サイン**  
南側の堂島にあった遊興地が移り、1708年、堀川の北岸に曾根崎新地が誕生。遊女がいる「北の新地」として発展し、現在の北新地へ。今では「大阪の銀座」とも呼ばれる高級歓楽街として知られています。



**37 泉布観**  
明治初期、造船局の応接所として建てられた洋風建築です。「泉布」は貨幣を意味し、明治天皇が命名。白い壁と列柱が文明開化の面影を今に伝える、大阪に現存する最古級の洋風建築。国指定重要文化財です。



**48 弁天町駅と大阪ハイツ**  
弁天町駅前のオーク200として1993年に完成し、現在は大阪ベイタワーの名で親しまれます。弁天町は主催者の6歳まで育った町で、完成年にはここで結婚披露宴を行った、現在も大切な思い出の地です。



**74 港大橋**  
大阪港をまたぐ赤い巨大トラス橋で、全長980メートル。中央径間510メートルは日本最長、世界第3位です。船の往来が多い航路をまたぐため、桁下51メートルを確保し、大阪港の物流を支えています。



**16 大阪府警察本部本庁舎**  
国立新美術館などを手がけた建築家・黒川紀章が設計し、2007年に完成。大阪城を望む場所に建ち、隣には、NHK大阪放送局と大阪歴史博物館が並びます。大阪の行政・放送・歴史文化が集まる一角です。



**27 川口基督教会**  
1868年大阪開港に伴い設けられた川口外国人居留地。その地に建つ教会で、現在の赤レンガ造りの聖堂は1920年竣工。阪神・淡路大震災で塔が倒壊しましたが、国内外の支援で復元され、今も残ります。



**38 たこ焼きオブジェ**  
大阪駅近くにあるたこ焼専門店で、入口の巨大なたこ焼オブジェが目印です。複数の店を一度に食べ比べでき、「大阪=たこ焼」のイメージをそのまま立体化したような、梅田らしいにぎやかなスポットです。



**49 尻無川水門**  
1970年完成。尻無川の河口で、大阪湾から押し寄せた高潮をせき止める巨大なアーチ型水門です。船の航行を妨げないよう普段は立ち上がり、台風時には円弧を描いて倒れ、川幅57mを完全にふさぎます。



**76 海遊館**  
太平洋を巡るように海の生き物を観察できる大型水族館です。ジンベエザメが泳ぐ「太平洋」水槽は深さ9メートル。OPは海遊館の西側側で、正面とは違う建物の表情も楽しめる、意外な場所になっています。



**17 踊り子**  
御堂筋に29体並び「彫刻ストリート」の一作品。片脚を高く上げ、上体を大きく反らした女性像「踊り子」です。1992年から「人間賛歌」をテーマに、沿道企業などの寄付で彫刻が設置され続けています。



**28 かに道楽北新地店**  
動くかに看板は、1962年に道頓堀本店で誕生。当時一般的でなかった「かに料理」の店だと一目で分かるよう考案されました。今や北新地店を含む各地の店舗へ受け継がれ、かに道楽の象徴になっています。



**39 大阪コリアタウン**  
鶴橋周辺では、河川改修工事をきっかけに朝鮮半島出身者が増え、涪州島と大阪を結ぶ直航船の就航でさらに定住が進みました。後に朝鮮半島出身者の市場が生まれ、現在の大阪コリアタウンへと発展しました。



**50 「mahôtsukai」ムラ・コス**  
スペイン出身の壁画家ムラ・コスが、世界の作家が集う「MURAL TOWN KONOYANA」で描いた「mahôtsukai」です。此花の街を美術館に変えていく国際壁画プロジェクトの一作です。



**100 たこ焼き購入ポイント**  
コンビニ、スーパー以外の地図範囲内の店でたこ焼きを購入(種類・数は自由、但し自費)し、店の看板とたこ焼き(チームの場合はメンバーも)と一緒に写真を撮ると一度だけ100点加算されます。